

市民と野党の力で政権交代

いのちと暮らしを守る政治を大阪12区SND市民連合街頭演説会 in 大東

大阪12区SND市民連合は9月25日、京阪百貨店＝オペラ広場で市民の力と野党共闘で政権交代をめざすための街頭演説会がおこなわれました。この演説会は、日本共産党大東市委員会と共同で取り組みました。

演説会冒頭、大東日本共産党後援会会長・中村鎮夫さんより政権交代への力強い決意表明がありました。

続いて、大阪12区SND市民連合事務局から、市民連合と4野党との共通政策＝命を守るために政治の転換を＝6項目、20

の政策についての話と9月8日に、4野党党首（立憲・枝野代表、共産・志位委員長、社民・福島代表、れいわ・山本代表）が共通政策に合意し署名したことの報告がありました。

安倍、菅政権の9年間、4人の市民から“怒りの告発”と野党連合政府樹立の期待と決意が語られました。「安保法制の廃棄」「学術会議任命拒否などの強権政治からの転換」「格差と貧困の解消」「沖縄辺野古新基地建設反対」「沖縄戦遺骨土砂使用は許せない」「消費税は5%へ引き下げよ」「憲法を守り平和な日本へ」等などが訴えられました。

天野かずゆき日本共産党大東市議会議員からコロナ禍において安倍・菅政権の無為無策が感染拡大、爆発を引き起こした政府の責任を告発、同時に吉村維新府政も科学に基づかないコロナ対策の失敗をくりかえした。大東の行政も市民に寄り添っていない、何よりもPCRの社会的大規模検査の必要性を訴え、最後に「総選挙で野党統一候補を擁して必ず勝利し国民連合政権を樹立しましょう」と訴えられました。



(上写真、中央右・松尾さん、左・宇都宮さん 2021/9/25 オペラ広場)

大東での街頭演説会、9月は3度目となりましたが、初めて、松尾まさのり日本共産党12区予定候補と宇都宮ゆうこ立憲民主党12区予定候補が揃っての訴えとなりました。

松尾予定候補は、弱肉強食の新自由主義を終わらせ、命と暮らしを大切にする政治への転換を、今、自民党は総裁選挙

でテレビジャックして自民党浮上作戦の思惑だが、立候補者は安倍・菅政権を推進してきた人ばかりで政治は変わらない。市民と野党の力で政権交代と力強く訴えられました。

宇都宮予定候補は、大阪の緊急事態宣言は1年半、コロナ死亡は日本一、自宅死亡も日本一、大阪のコロナ対策の失政、コロナ禍で女性の自殺が増加、弱者へ手をさしのべる、消費税は5%に引き下げましょう。国会での女性議員は10%これを変えたい。ジェンダー平等、投票率を10%、20%引き上げたら政権交代は出来ます。立憲野党で政権をと訴えられました。



(写真、マイクを持つ天野かずゆき日本共産党大東市議会議員)